



128
2023夏

にってん フォーラム

高田馬場^{いち にーさん しっ!}1-23-4 ———— 長岡英司

2022（令和4）年度事業報告 ———— 立花明彦

新しい顔

新任幹部職員をご紹介します ———— 村尾正豊

2023 年度視覚障害者囲碁大会開催 ———— 伊藤宣真

「にってんフォーラム」がホームページでも
ご覧いただけるようになりました

公益財団法人 JKA 補助事業完了のお知らせ
さよなら花島弘さん 石神井の愛すべき飲んべえ

——— 鈴木琢磨

川崎市視覚障害者情報文化センターだより

——— 浦野盛光

「ジュラシック・パーム

—手でみる恐竜の世界—」展 開催中 ———— 伊藤宣真

私と日点 ———— 森平邦子

明日につながる支援の力

リレーエッセイ ———— 西宮敏子

ご存じですか？こんな商品

チャリティコンサートのご案内



ISSN 0916-8877

日本点字図書館カード 会員募集中



入会金・年会費無料

あんしんの盗難紛失保障付

※カードの発行には所定の審査がございます。

カードご利用金額の一部を

社会福祉法人日本点字図書館へ寄付いたします。

寄付金は、点字図書、録音図書の製作・貸出に役立てられます。

(※カード会員さまのご負担はございません)

みなさまがカード会員となり、ご利用いただくことで
視覚障がい者の方々を応援できるカードです。

その他詳細・
お申込みはこちら

日本点字図書館カード

検索

■カードに関するお問い合わせはイオンカードコールセンターまで
(受付時間 9:00～18:00)年中無休

 **0570-071-090** (ナビダイヤル: 有料)

043-296-6200 (有料)

お電話番号をよくお確かめの上、お間違えのないようご注意ください。



イオン銀行

(業務受託会社)



イオンフィナンシャルサービス

落語を楽しむ

ながおかひで じ
理事長 長岡英司

話芸の代表的なものの一つに落語があります。視覚障害者には、これを聴くのを楽しむ「落語ファン」が多くいます。演者（噺家）や演目にとっても詳しい「落語通」も少なくありません。改めて記すまでもなく、落語ではストーリーの展開のほとんどが言葉で伝えられますから、視覚障害者にとって情報のバリアが少ないのです。しかも、噺家さんは話術を駆使して、ときに面白おかしく、ときに迫力満点に語ってくれますので、十分に楽しむことができます。

私自身も、盲学校の中学・高等部に在学していたときからの落語好きです。その1960年代当時は、五代目古今亭志ん生^{ごこんてい し しやう}、六代目三遊亭圓生^{さんゆうてい えんしやう}、八代目桂文楽^{かつら ぶんらく}などの名人の全盛期でした。ラジオ局が競って落語の番組を放送し、その公開収録に同級生と出かけたこともありました。以来、落語を楽しむことが、私の心のリフレッシュに大いに役立ってきました。時代は変わり、最近ではラジオの落語の番組がほとんどなくなりました。ユーチューブなどインターネット上のコンテンツが、手軽に落語を楽しむ手段になっています。しかしながら、インターネットではコンテンツを自身で選択して再生しなければなりませんから、以前のラジオ放送のように偶然に落語を聴いて関心を持つという可能性はありえません。

そのようななか、視覚障害者に落語の楽しさを知らせるプロジェクトを立ち上げた噺家さんがいます。若手真打の春風亭昇吉^{しゅんぷう ていしやうきち}さんです。東京大学卒業という経歴の持ち主で、その学生時代に盲学校で落語を演じたときの経験が、この取り組みを思い立った原点なのだそうです。触覚でも楽しめる落語絵本の出版や、演目に登場する事物の3D模型を触察できる落語会の開催など、視覚障害者が落語に親しめるようにする活動を始めており、当館も評議員の星川安之^{ほしかわやすゆき}氏の仲介でこれに協力しています。昇吉さんは、視覚障害者を含む多様な人々が落語を真に楽しめるようにしたいという志を持っています。落語が多くの人に楽しまれるユニバーサルな話芸としてさらに発展するよう、願う次第です。

2022 (令和 4) 年度事業報告

たちばなあけひこ
館長 立花明彦

「新型コロナ感染」に「ロシアのウクライナ侵攻」、この二つの事象は私たちの社会、日常に深く入り込み、様々な影響をもたらした 2022 年を語るキーワードと言えます。

当館の 2022 年度は、理事長・館長が交代し、新規一転、新たな体制での運営を始めた年度となりますが、上記二つが引き起こす波は否応なく当館へも押し寄せ、厳しい運営を強いられました。

新型コロナに対しては、感染防止対策を徹底させながら事業を進めましたが、感染爆発の波が押し寄せる度に職員にも罹患する者が出て、現場の人手が薄くなることもありました。一方で、状況を注視しながら一部のイベントは対面で開催し、外部の催しへの出展依頼にも少しずつ応じることができました。

国際秩序を崩壊させるロシアのウクライナ侵攻は、とりわけ世界経済を混乱させ、相次ぐ物価の値上げを引き起こしましたが、当館では、資料等の点字化・音声化の受注額や視覚障害者用具の販売額の値上げを余儀なくされ、期待していた売上増が阻まれました。また光熱費の高騰は想定外の支出を呼び起こし、財政を苦しめ、次年度の予算に不安を残しています。

2022 年度は、①各サービスにおける利用者の拡大、②電子図書館「サピエ」の将来構想の具体化、③業務体制の再編の検討、④製作体制の充実、⑤職員の確保と育成と、五つの重点課題を掲げて運営に当たりましたが、紙数の都合から、ここでは三つについてその結果をお伝えします。

①各サービスにおける利用者の拡大：図書、用具、自立支援のサービスにおける利用者の拡大を図るべく、医療・福祉・教育関係機関と連携して情報発信を行ないました。教育機関との連携では、図書情報課職員が特別支援学校や視覚障害者を対象とする大学へ出向き、読書手段や情報提供サービスに関する授業を実施し、若い世代の図書館利用を促すとともに、点字図書館利用のニーズの動向を把握しました。併せて特別支援学校からの館内見学にも積極的に対応し、図書利用や用具購入に結び付けました。

川崎市視覚障害者情報文化センターでは、川崎市主催の研修会にセンター職員が講師として参加し、センターの事業概要や歩行・ＩＣＴなどの訓練の実際についての説明を行なっています。

図書貸出の促進にも注力しました。複数のデジタイズ図書をテーマごとにひとまとめにしてＳＤカード等に入れて提供する「セレクトパック企画」を継続し、第１弾を７月から９月に、第２弾を１２月から２月で実施して昨年度を大きく上回る実績を得る等、好評を得ました。

②電子図書館「サピエ」の将来構想の具体化：システム管理施設の立場から「サピエ」の発展の方向性やその実現の方策について、運営組織である全国視覚障害者情報提供施設に提言を行ない、その実現に向けて協力しました。また全視情協が開発を進めているサピエ用ＡＩスピーカー機能について、認証機能と利用統計機能に関する具体的な要件を作成し提言を行ないました。さらにサピエ専用端末におけるセキュリティレベル関連の課題について、詳細を全視情協に報告すると同時に、対策の実施等を端末メーカーに提言しました。

③業務体制の再編の検討：特定指定相談支援事業の継続の可否について検討しました。本事業は障害者総合支援法に位置づけられていることから多くの事業所で開設しています。利用状況等をも含めて勘案すれば、当法人が展開する既存の事業の専門性やその特性を生かした新たな相談事業を展開していくことのほうが、利用者にも大きな利益につながる等から廃止することを決定。これに伴い、関連する諸手続きや対応を進めると同時に、２０２３年度から始める新相談事業「見えない・見えにくい困りごと相談デスク」設置の準備を進めたところです。

施設公開の一環でこれまで年１回開催していた大イベント「オープンオフィス」に代わり、毎回数人程度の参加者を募って業務体験の機会を提供する「ってんワークショップ」を５月から３月まで毎月１回開催しました。ほとんどの回で満席をいただく等、好評を博すことができました。

これらの事業を遂行するに当たっては、利用者や、ボランティア、寄付者、助成団体の皆様のご理解とご協力が大きな助けとなっていることは言うまでもありません。改めて深く感謝いたしますとともに、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

新しい顔

今春、当館に2名の新規職員が加わりました。
私たちの新しい仲間を皆様にご紹介します。

①名前 ②出身地 ③趣味 ④当館を選んだ理由 ⑤自己PR



①池松^{いけまつ}塑^{さくたろう}太郎（自立支援課） ②富山県 ③国内旅行（地域のおいしいものを食べて温泉につかるのが大好きです） ④私自身生まれつき全盲で、前職では当事者の視点からバリアフリーなウェブサイトや製品づくりのお手伝い、視覚障害者向けスマホ使用方講習会のスタッフなどを担当していましたが、同じ当事者としてもっと一人ひとりの困りごとや希望に合わせたサービス提供ができないかという思いが常にありました。そんな私に

とって個々のニーズに合わせて幅広いサービスを行う当館はあこがれの場所であり、職員募集があることを知って「ぜひここで働きたい!」との思いで志望しました。⑤人前に出る経験が多かったので、声の大きさには少し自信があります。明るく元気をモットーに、利用される方に親しみを感じていただき、気軽にご相談いただけるような職員を目指し日々精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



①石川^{いしかわ} 麻^{あさ}（指定管理部） ②和歌山県 ③野球観戦、ランニング、ピアノの弾き語り等 ④幼い頃から点字や白杖に触れ、音声パソコンやスマートフォンなども身近に感じながら育ちました。当事者として、福祉を利用する中で生きづらさも喜びも経験し、それらを他の人々のために活かしていきたいと、大学で福祉学を学びました。生活支援員の職員採用は、一番に目指していた仕事の方野であることから、すぐに応募しました。利用

者の傍で、一緒に考え、歩んでいける仕事であることに改めて喜びを感じるとともに、更なる研鑽に励みたいと強く思っています。⑤田舎育ちの私が、結婚を機に上京し、一気に都会の人間となり、間もなく就職した場所が当館です。何もかもが手探りですが、積極的に外に出ること、人と話すことが本当に好きな性格で、それを自分の中で最も大切にしています。お一人おひとりの立場に立ち、寄り添いながら自身も学びをいただき、日々利用者に多くの可能性と楽しみ、希望をお贈りできるよう、精一杯従事していきたいと思います。

新任幹部職員をご紹介します

今年度より就任した、当館事業の中心を担う新任幹部職員を紹介いたします。

用具事業課長 むら お まさとよ
村尾正豊

4月より用具事業課長に就任いたしました村尾正豊と申します。

入職時より用具事業課に配属され、図書情報課で貸し出し担当を4年経験した後、当該課に戻り25年目を迎えます。

これまでの業務は、おもにお客様対応が中心でしたが、課員をまとめ全体を見ていく役割に重責を感じております。まだまだ未熟で、日々、上司や課員に助けられておりますが、信頼される課長になるべく、努力を重ね邁進していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせ、ようやく社会が動き出しました。街では多くの外国人観光客を見かけるようになり、以前の活気を取り戻しつつあります。わくわく用具ショップもご多分に漏れず、来館されるお客様が増え賑わってきております。

近年の傾向として、中高年になり様々な要因による見えにくさでお困りになり、来館されるかたが増えてきていると感じます。

本や書類、文字の読み書きが目的で、拡大読書器や文書読み上げ機をお求めになるかたには、機器を使うことへの躊躇や抵抗を感じることは多くありません。一方白杖を持つことに関しては、多くのかたが持つ持たないの狭間で、とても悩んでおられ、時にはその葛藤ゆえに涙を流されるかたもいらっしゃいます。

「自分の身を守るためにも、お持ちになってみてはいかがですか」「小さくするための、バッグなどに入れて必要なときに取り出して使ってみてはいかがですか」などの声かけをいたしますが、どのように声かけすれば良かったのか、日々、自問自答しております。

当館には、生活相談窓口や全国へ点字図書や録音図書を貸し出している部署がございます。館全体で連携を図りながら、お一人おひとりの気持ちに寄り添い、見えにくくなりお困りのかたが最初に訪れる窓口として、最初の一步を踏み出すきっかけづくりを担っていけたらと思っております。

2023年度視覚障害者囲碁大会開催

本部長 いとうのぶざね 伊藤宣真

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度は開催を見送った視覚障害者囲碁大会を、当館とNPO法人日本福祉囲碁協会との共催で、6月17日土曜日、渋谷区のリフレッシュ氷川において開催しました。

外気温30度を超える梅雨とは思えぬ真夏日の中、34名の参加者が集い熱戦を繰り広げました。参加者は、フルサイズの19路盤が26名、中サイズの13路盤が4名、一番小さい9路盤も4名という内訳で、小学生から80代まで幅広い年齢層で、近県からだけではなく遠く秋田県からの参加もありました。

19路盤は段級位に応じて3グループに分け、スイス式トーナメントで3回戦、13路盤と9路盤は総当たり戦で同じく3回戦を戦いました。

視覚障害者用の碁盤は線が盛り上がっています。石は、裏面に中心から放射状に8方向に溝が切っており線の交点にはめることにより触れても動きにくく、黒石の表面に凸点をつけることにより白黒の識別を可能にしています。

審判長を関西棋院の森野節男九段にお願いし、個々の対局の審判は日本福祉囲碁協会の会員に担っていただきました。同協会からは50人を超える会員がボランティアで来られ、審判のほか会場設営から受付、司会、写真撮影など運営全般を受け持っていただき、また参加申し込み受付、会場確保等大会準備からもたいへんお世話になりました。

協賛いただいた朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団、毎日新聞東京社会事業団の各団体様にも深く感謝申し上げます。



「にってんフォーラム」が ホームページでも ご覧いただけるようになりました

この度、当館の事業、活動をより多くの方にお伝えするため、本誌『にってんフォーラム』のPDF版を、当館のホームページにて公開することにいたしました。

その他、日本点字図書館利用案内や新刊図書案内など、当館発行の各種資料も閲覧またはダウンロードすることができます。

- ・日本点字図書館発行 各種資料のダウンロード
https://www.nittento.or.jp/data_download/index.html



公益財団法人JKA補助事業完了のお知らせ

この度、2022年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。本事業により、視覚障害者が就業や充実した日常生活を営むために役立つ、独自の「聞く雑誌」を製作、配布いたしました。

ここにご報告を申し上げるとともに、謹んで感謝の意を表します。

事業名 「2022年度障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業」

事業内容 視覚障害者用月刊CD雑誌『医学研究』・『ホームライフ』の製作及び配布

補助金額 2,421,000円

実施場所 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号
社会福祉法人 日本点字図書館

完了年月日 2023年3月3日



社会福祉法人 日本点字図書館
理事長 長岡英司

さよなら花島弘さん 石神井の愛すべき飲んべえ

毎日新聞編集委員 ^{すずきたくま} 鈴木琢磨

関西人の私が東京に出てきて驚いたことのひとつに東京人のコハダ好きがあります。どうやらコハダにこそ、江戸前ずしの真骨頂があるようで。私の行きつけ、石神井公園（東京都練馬区）そばにある「^{いさみ}勇寿し」もコハダが評判です。いやあ、酸っぱいのなんの。慣れぬ私の舌はびっくりしましたが、不思議なもので、しばらくするうち、これがクセになるうまさ。もう一貫、もう一貫となります。

そんな「^{はなしまひろし}勇寿し」で花島弘さんと出会ったのはかれこれ10年以上前のこと。住宅街にある隠れ家的な寿司屋ですから、せいぜい旬の魚の話題などをつまみに静かに過ごすのが礼儀、いや、粋というやつでしょうが、花島さんは違いました。好奇心だけは旺盛な新聞記者の私をつかまえ、語るわ、語るわ。ときにつるつる頭からシュッと湯気を出しながら。ここで花島さんと飲めば、にぎやかな大衆酒場へと変ぼうしてしまうのです。

カウンターで花島さんからいろいろ教えてもらいました。私はほろ酔いながらも、シャンプーとリンスの話は、なるほどなあ、と膝を打ちました。髪の毛を洗うとき、たいてい目をつむる。シャンプーとリンスが同じ形のボトルだと触っても区別がつかない。シャンプーのボトルの側面や上部にギザギザを付ければいい。ちょっとしたアイデアですが、視覚障害者はもちろん、みんなが便利になる。時代は専用品から共用品へ——。そんな解説でした。いまでは、ほぼすべての市販シャンプーのボトルにギザギザがあるそうです。

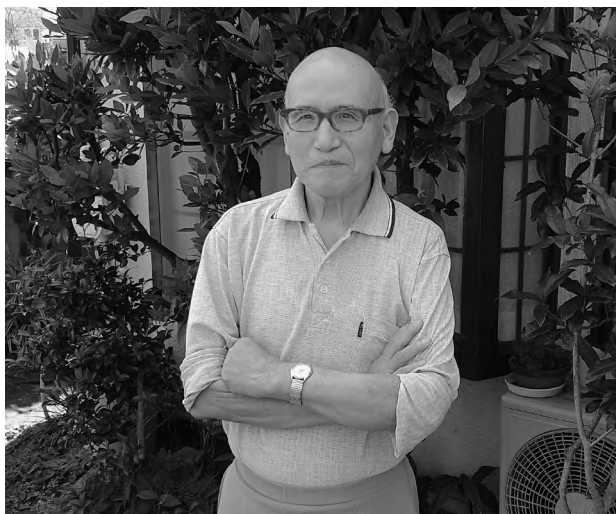
忘れられない夜があります。「載ったんですよ！」。2018年の1月でした。花島さん、ノレンをかきわけ、笑顔で飛び込んできたのです。見れば、重そうな「広辞苑」を抱えています。で、席に座るなり、しゃべりだす。なんでも10年ぶりに改訂された第7版に花島さんらが生み、育ててきた言葉「共用品」が収録されたとか。辞書を開いたら、ちゃんと出ている。採用基準が＜日本語として定着した語、または定着すると考えられる言葉＞ですから、まさに快挙です。石神井に花島弘の銅像を！ 私はなかば本気でした。

そうこうするうちコロナ禍です。たまに朝の散歩でお目にかかったときはいたってお元気そうでしたが、この春、「勇寿し」の大將から悲しい知らせが届きました。3月4日に85歳で急逝されたとのこと。いつかインタビューを、

と願っていただけに残念、無念でした。日本点字図書館（日点）で長らく盲人用具の普及に携わってこられたのは承知していたものの、そもそも日点とのつながりを聞き漏らしていました。あの情熱の源泉はどこから？ なにぶん昔のことゆえ、関係者にうかがってもいまひとつわかりません。なんだか「伝説」めいてもいるようで……。そうなるを知りたくなるのが新聞記者のさがです。

ある雑誌に花鳥さんの対談記事を見つけました。それによれば、テープレコーダーの営業マンをしていたころ、床につき、ラジオのスイッチを入れたとたん、日点創設者、本間一夫さんの声が流れてきた。「事業を拡大・充実させるため若い侍がほしい」。しばらくして、新橋のおでん屋で飲んでの帰り、電車のなかで「日点へ行け！」と神の啓示が降り、その足で本間さんに「私にやらせて」と直訴する。ぷんぷん酒くさい夜の面接。給与は減るが、酒とタバコを控えたらなんとかなると思ったとか。1962年のことです。私は国会図書館でニヤニヤしながら読みました。

ところで、この愛すべき飲んべえ、国際交流の船「ピースボート」の熱心なリピーターでもありました。一緒に乗船した若者らからは「フラワー」と親しまれ、下船してからも仲良しでした。毎晩、洋上居酒屋「波^{なみ}へい」に通ったそうです。私にも北朝鮮を旅したとか、南極の氷でつくった極上ウイスキーを飲んだとか、とっておきの土産話を披露してくれました。「もう一度、乗りたい」と言っておられた。「共用品」を「キョーヨーヒン」として国際語にしたいとの夢も抱いておられた。かないませんでした。が、見事な人生航路でした。それにしても、あの夜、ラジオから流れてきた本間一夫さんの声にびびったときはなぜだったのか？ 未知なるものへの尽きせぬ興味、軽やかに境界を飛び越えるやわらかな精神、そして人間愛にあふれる、さみしがり屋だったのではないかと――。酒飲みの自己弁護もありますが、ちょっとだけ似たもの同士の私は、そんな想像をしています。



東京都練馬区の自宅前で、2021年6月＝鈴木琢磨撮影

川崎市視覚障害者情報文化センターだより

点訳者養成事業について

利用者サービスグループ うらの もりみつ
浦野盛光

当センターでは隔年で、点訳者と音訳者の養成講座を行っています。2022年度は点訳者養成の年でした。今回はこの講座について報告いたします。

当センターの点訳者養成講座は、「点字図書製作講座」という名称です。その名の通り、点字の初歩からではなく、図書を製作するための中・上級の講習会です。川崎市内では各地で入門点字講習会が開催されており、その修了者が本講座を受講するのです。ここ数年、点訳に関する研修や会議はオンラインが中心でした。しかし、本講座はすべて対面で実施することにしました。実施に当たり、例年から変更した点がいくつかあります。これまで全16回のうち、3～5回を外部講師に担当していただき、ほかを担当職員が担っていました。また、1回は市立中原図書館の見学に当て、調べ物担当者のお話を伺っていました。今回はこれらを見合わせ、すべてを私が担当することにしました。このやり方の方が、コロナ禍による急な日程変更に対応できると判断したからです。

受講者は4名でした。例年より少なめでしたが、各地の入門講習会も十分に開催できていないとのことで、仕方のないことかもしれません。心配されたコロナの影響も小さく、全日程を予定通り終えることができました。カリキュラムの組み換えも行ったため、例年よりも資料・課題の作成に時間をとられましたが、無事終えることができ、安堵しています。

少人数が幸いしたのか、和気あいあいとした雰囲気、皆様積極的に取り組んでおられました。3月に受講者4名を新規点訳者として迎え、各自の点訳に取り組んでいただいています。今回の点訳者養成は順調に進んでいますが、各地の入門講習会が低調な中、今後の受講者確保が課題となりそうです。

当センターでは地域のボランティアグループと連携しながら、点訳者の育成を図り、質の高い点字図書の製作に努めてまいります。

日本点字図書館は、指定管理者として、川崎市視覚障害者情報文化センターを運営しています。

第12回企画展

「ジュラシック・パーム 一手でみる恐竜の世界」展
開催中

ふれる博物館館長 伊藤宣真

恐竜。それは地球誕生以来現れた生物の中で最も人気の高い生物で、展覧会を開くと多くの観客が集まり、現代によみがえらせた映画也大ヒットしてシリーズ化されています。この恐竜について、前回企画展でお世話になった奇石博物館では化石を所蔵していて、これをお借りできるということから、今回恐竜をテーマとした企画展が実現しました。また同博物館の働きかけで国立科学博物館からも所蔵品をお借りすることができました。

通常、こういった展示イベントでは化石から型取りしたレプリカを展示しそれを見るだけというのが多いのですが、本展示会では実物の化石を多数展示し触ることもできます。

主な展示品は、ティラノサウルス類の歯、トリケラトプス上腕骨、エドモントサウルス脚部、ヒプセロサウルスの卵、ティラノサウルスの足跡。これを機会に、恐竜の化石に触れ、有史以前の地球に想いを馳せてみませんか？

会期は9月30日（土）まで。祝日、夏期休館（8月11日（金）～16日（水））を除く水曜・金曜・土曜に開館しています。

ご来館をお待ちします。

共催／手と目でみる教材ライブラリー

協力／^{まなべまこと}真鍋 真（国立科学博物館副館長）

独立行政法人 国立科学博物館

地球の石科学財団 奇石博物館

※ 事前予約制です

【お申込み・お問い合わせ】

090-3247-7290（10時～16時）

（ふれる博物館開館日のみ）

03-3209-0241（代）（9時～17時）

（その他の日、本館代表番号）



エドモントサウルス脚部



私と日点

点訳ボランティア もりひらくにこ
森平邦子

私が点字を学ぼうと思ったのは、先天性白内障であることがわかって、いずれは見えなくなるのではないかと思ったことがきっかけです。日本点字図書館で点字の通信講座を行っていることを知りましたが、1988年当時東京都外の人は受け入れていなかったため、都内に住む友人宅に寄留して受講を始めました。講座を終えて実際に日点の蔵書を点訳できるようになったのは3年後でした。

その頃地元の春日部市でも市主催の点字の講習会が始まって、その修了者を中心にした「春日部点字サークル」が発足し、仲間たちと励ましあいながら点訳技術を向上させることができました。

点訳も最初は1点1点手で打っていたのがタイプライターを使うようになり、10年後ぐらいにはパソコンで瞬時に墨字を点字に変換できるようになり格段に便利になりました。

私は元々読書も国語も辞書をひくことも好きでしたし、墨字を点字に置き換える作業も楽しく、点訳はまさに“性に合ってる！”感じで、すぐに夢中になり、今では大げさでなく生きがいになっています。

「マスあけ」には未だに悩まされますが、これも読者によりよく理解していただくためと自分に言い聞かせながらがんばっています。

白内障は幸い進まずにいますが老眼がすすんで、濁点と半濁点の判別がむずかしく、拡大鏡が手放せません。

春日部市の点字講習会は今も続けられていて、毎年「サークル」にも新しい仲間が加えられ、この仲間たちの助け合い、教えられる存在はとても貴重です。

今では自動点訳システムの恩恵も受けられますし、1冊でも多く点訳して、目の不自由な方々の読書の選択肢が広がることを願いながら日々パソコンに向かっています。

◆ ◆ ◆ 明日につながる支援の力 ◆ ◆ ◆

このコーナーでは、当館をご支援くださっている団体・企業などをご紹介します。(総務部)

三菱商事株式会社

当館は点字図書館事業だけではなく、視覚障害者の生活を支援する事業も実施しています。それが訓練事業と生活用具の斡旋販売事業です。読書だけではなく生活上の障壁を取り除き、より豊かな日常を送っていただきたいという願いで始めた事業ですが、そこに焦点を当てて支援してくださっているのが、三菱商事です。

視覚障害者生活用具の購入は実際に手に取って確認していただく必要があります。当館の「わくわく用具ショップ」に来られない、地方の方むけに製品を広く知っていただくには、現物を、キーとなる地方の施設・団体に寄贈し現地の視覚障害者に触っていただく必要があります。また拡大読書器、白杖など訓練に必要な機器も日々更新していく必要があります。

それらの課題に対して、盲児童向け点筆の開発・製作と寄贈、白杖紹介の充実、見本貸出用遮光オーバーグラスの充実、自立訓練に必要な備品の整備などについて、三菱商事からは2015年度以来、毎年のようにご支援いただいています。

同社の今までのご支援に感謝申し上げますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げます。



ご寄付により整備した訓練用ノートパソコン

亀の歩みのように

にしみやとしこ
図書情報課 西宮敏子

9時の開館時間になると、図書情報課では全国の利用者の皆様から図書の貸出希望の電話が鳴り響きます。「図書情報課貸出担当西宮です。…お名前とご住所を教えてください。…ご希望の図書は、点字図書ですか録音図書ですか。…図書のタイトルを教えてください。」聴きたい図書が少しでも早く手元に届いてほしいという思いから朝一番にかけてくださっているのかなと想像し、間違いがないようメモを取っていきます。

しばらくすると新宿北郵便局（大きな郵便局）に「利用者から返却されてきた図書」や「他館から送られてきた図書」を受け取りに行っていたトラックが戻ってきます。最初にメインとなる図書の返却と貸出を点字図書と録音図書の担当に分かれて処理しますが、返却や貸出の数が多い日は、ここまでの作業がお昼過ぎまでかかります。続けてダウンロードサービスの処理や事務処理を行います。利用者からの貸出希望や利用登録・問い合わせなど、お電話やご来館の対応も併せて行うので、スタッフ一丸となって日々作業しています。

十数年前に株式会社オリエンタルランドの方の話を聞く機会があり、「いらっしゃいませだと、相手は返す言葉がないので、そこで会話は止まってしまう。」と話されたことが、今も心に残っています。なぜなら当時私は、商品を販売する用具事業課におり、「いらっしゃいませ」が絶対だと思い込んでいたからです。言葉のキャッチボールができるように、相手が話しやすい状況を作ることが必要なのだとその時ハッとさせられました。

図書情報課は当館の中でも、利用者の方と接することの多い部署の一つですが、その多くは電話での対応になります。相手の顔が見えないからこそ、逆に話し方や声の調子やトーンが鮮明に伝わるため、「また電話しよう」と思っただけのように話すことを心がけています。現実には、なかなか自分が理想とする対応ができず、反省したり落ち込んだりすることも多いのですが、利用者のご希望に応えられるよう亀の歩みのように少しずつでも前進してまいります。

ご存知ですか?

こんな商品

わくわく用具ショップより、どなたが使っても便利な新商品をご紹介します。ウェブショップからお買いものができます。ぜひご利用ください。

お問い合わせ 03-3209-0751

URL <https://yougu.nittento.or.jp/>

HONESTIES インナー ウィメンズ メンズ Mサイズ

【価格】1,420 円 (税込)

【大きさ】ウィメンズ (身長 153 ~ 160cm・バスト 79 ~ 87cm・ウエスト 64 ~ 70cm)

メンズ (身長 165 ~ 175cm・胸囲 88 ~ 96cm・胴囲 76 ~ 84cm)

【色】白色 【形状】半袖・丸首 【メーカー】HONESTIES 株式会社



ウィメンズ



メンズ

裏表がないユニバーサルデザインのインナーです。ウィメンズは、裏と表の区別がなく、メンズは裏表だけでなく前後も気にする必要がありません。何も考えずに着脱や洗濯、収納ができるため、日々のちょっとしたストレスの軽減にもつながります。

このインナーには、裏表のない生地が使われています。またベビー服やウエットスーツなどで用いられる特殊な縫製技術で肌着の裏と表をなくしています。タグは、肌着の裾を下から挟むようにつけられています。生地は綿 100 パーセントの優しい肌触りで、まるで自分の皮膚のように違和感がありません。

夏の時期には嬉しい抗菌防臭加工が施され、嫌な生乾きや汗のにおいもカットしてくれます。

チャリティコンサートのご案内

第21回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「ほのカルテット with 澤 和樹〜弦楽アンサンブルの愉しみ〜」を下記の通り開催いたします。

ほのカルテット (HONO Quartet) は2018年、メンバーが東京藝術大学在学中に結成。古典作品を中心に取り組み、東京を拠点に全国でリサイタルを開催しています。始動間もなく秋吉台音楽コンクール室内楽部門で優勝するなど演奏技術が高く、特にハイドンの演奏は多くの聴衆を魅了しています。

澤 和樹さんは国際的に活躍するヴァイオリニストです。ヴィオラ奏者としては、2008年にマックス・ブルッフの弦楽五重奏曲の世界初演及び世界初録音を、2012年にはスペイン王室所蔵のストラディヴァリウスによる弦楽五重奏を演奏し、絶賛されました。2022年まで6年間、東京藝術大学長を務められました。

チケットのご予約受付および発売は、8月頃を予定しております。お申し込み・お問い合わせは当館総務課（電話 03-3209-0241）までご連絡ください。

<開催概要>

出演者：ほのカルテット、澤 和樹

日時：2023年10月28日(土) 13時15分開場、14時開演(予定)

会場：東京文化会館 小ホール (JR上野駅公園口改札から徒歩1分)

料金：4,000円 (全席自由)

曲目：ハイドン：弦楽四重奏曲 ト長調 Op.33-5

モーツァルト：弦楽五重奏曲 ト短調 K.516 他(予定)

にってんフォーラム〈第128号〉 2023 夏

発行 2023年7月25日〈年4回発行〉

発行人 長岡英司

編集人 立花明彦

発行所 社会福祉法人日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話03-3209-0241 (代) FAX03-3204-5641

URL <https://www.nittento.or.jp/>

*本誌の記事を撮影したり光学的に読み取ったりして、SNS等で発信したりウェブサイトへ転載することを固くお断りします。

ワクワク! / ドキドキ!



あなたと映画を観たい。

映画みていて!

「スマホで聞く音声ガイド」



NPO メディア・アクセス・サポートセンター

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-51-1

初台センタービル 709号室

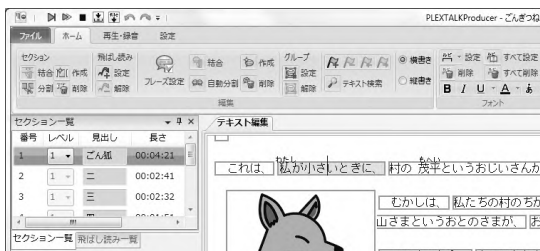
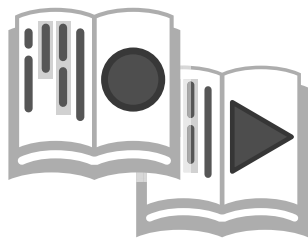
MASC

映画



ポッドキャスト

音声 / テキスト / マルチメディア DAISY 製作ツール



PLEXTALK Producer

で作れる 新しい DAISY のカタチ

音声DAISY … 録音図書の標準方式

- ⊗ テキスト文書から音声合成で図書が作れます
- ⊗ CD 書き込み機能で、直ぐに貸し出しできます

テキストDAISY … 音声のない DAISY

- ⊗ データ容量が小さく、受け渡し時間が短縮できます
- ⊗ ルビ振りにも対応し、正しい読みも担保できます

マルチメディアDAISY … 音声とテキストのマルチメディア

- ⊗ ディスレクシアなど合理的配慮の利用対象者が広がります
- ⊗ 既存の音声を使ってマルチメディア化もできます

90日間無料操作体験版は www.plextalk.com からダウンロードできます

サポート OS	Windows 11、Windows 10、Windows 8.1 以降 ※ 各 OS は日本語のみサポート
プロセッサ	Intel Core i3 以上推奨
メモリ	4GB 以上推奨

レイアウトツール 文字化ツール (OCR) でデータ取り込みが楽々！

PLEXTALK Producer 簡単取り込みセット ¥88,000 (税込)

PLEXTALK Producer 単体 ¥49,500 (税込) 簡単取り込みオプション ¥38,500 (税込)

販売元：

シナノケンシ株式会社

〒386-0498
長野県上田市上丸子 1078

製品情報、ご注文はホームページ：

www.plextalk.com

※ Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。Intel Coreは米国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

※ 記載の情報は2022年6月のものです。機能および外観デザインなどは、性能向上その他の理由で、予告なく変更することがあります。PLEXTALK、PLEXTALKロゴはシナノケンシ株式会社の商標です。